**県民芸術祭実施要綱**

公益財団法人宮崎県芸術文化協会

１　趣旨

　実施主体である文化団体等が、それぞれに役割とテーマを持ちながら日ごろの研鑽の成果や創意工夫に基づいた取組を広く県民に発表することにより、県民の文化創造や文化意識の高揚を促し、本県の芸術文化の振興を図る。

２ 事業の実施主体

　（１）公益財団法人宮崎県芸術文化協会

 （２）参加を希望する公益財団法人宮崎県芸術文化協会会員（下部組織を含む）。

　　　　この場合は公益財団法人宮崎県芸術文化協会との共催とする。

　（３）その他県内に所在地または活動の拠点を有する団体。

　　　　この場合は公益財団法人宮崎県芸術文化協会との共催とする。

３　事業の内容

　（１）次のいずれかに該当するもので、且つ通例を凌ぐ特色ある内容規模であること。①は２（２）が実施する場合のみ。

 ①周年的（原則として１０年周期）・記念的事業

 ②先進的またはチャレンジ性のある事業

 （２）３（１）①については原則として複数団体の参加であること。

 （３）上記に準じる内容で、県民芸術祭運営委員会が特に必要と認めたもの。

４ 経費

　（１）補助金は原則として１００万円を上限とする。

　（２）３（１）①については、補助率を２分の１以内とし、３（１）②については補助率を１０分の１０以内とする

５ 事業の選定

 （１）各年度の事業は、別記様式「事業計画書」及び「収支予算書」により参加希望を募り、県民芸術祭運営委員会において審議し決定する。

 （２）県民芸術祭運営委員会は公益財団法人宮崎県芸術文化協会の会長、副会長、常務理事を以て構成する。

６ 補助金の交付及び実績報告

 県民芸術祭補助金交付要綱等に従って必要な手続きを行うものとする。

７ その他

 その他県民芸術祭の実施に必要な事項は会長が定める。

 附　則

 　１　この要綱は、平成９年度県民芸術祭事業から適用する。

 　２　平成１０年１２月１３日一部改正、平成１１年度県民芸術祭事業から適用する。

 ３　平成２１年５月３０日一部改正、平成２２年度県民芸術祭事業から適用する。

　　４　平成２４年４月１日一部改正、平成２４年度県民芸術祭事業から適用する。

 ５　平成２５年４月１日一部改正、平成２６年度県民芸術祭から適用する。

　　６　平成３０年８月２０日一部改正、平成３１年度県民芸術祭から適用する。

　　７　令和２年３月３０日一部改正、令和２年度県民芸術祭から適用する

［様式１］

**令和２年度県民芸術祭事業計画書（応募用）**

 **１ 事業実施団体**

|  |  |
| --- | --- |
| 団 体 名 | 　 |
| 代表者氏名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞ |
| 担当者 | 〈住所〉〈氏名〉〈連絡先〉 |

**２ 事業計画**

|  |  |
| --- | --- |
| 採択希望枠 | 　□A（チャレンジ枠）　□B（コロナ枠）　番号　　　　 |
| 事業名 | 　 |
| 主管団体 |  |
| 事業の目的 | 　 |
| 事業の内容 |  |
| 事業の特色 |  |
| 申請した理由 |  |

［様式２］

**令和２年度県民芸術祭収支予算書（応募用）**

**収入** （単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費　　目 | 予　算　額 | 説　明　及　び　積　算 |
|  | 　 |  |
| 合　　計 | 　○○○○ | ←支出合計と一致させること |

**支　出** （単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費　　目 | 予　算　額 | 説　明　及　び　積　算 |
|  | 　　 |  |
| 合　　計 | 　○○○○ | ←収入合計と一致させること |

［様式１］

**令和２年度県民芸術祭事業計画書（応募用）**

 **１ 事業実施団体**

|  |  |
| --- | --- |
| 団 体 名 | 　芸文　協会 |
| 代表者氏名 | 　芸術　文太　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞ |
| 担当者 | 〈住所〉〒○○○―○○○○　　　　宮崎市宮田町○○―○〈氏名〉芸文　協子〈連絡先〉○○○―○○○○―○○○○ |

**２ 事業計画**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 　令和２年度県民芸術祭～ |
| 主管団体 | 　 |
| 事業の目的 | 　日頃の研鑽の成果を広く県民に発表することで、県民の文化意識の高揚と、本県芸術文化の振興を図る。 |
| 事業の内容 | 〈日時〉令和○○年○月○日　午後○時から午後○時〈会場〉○○ホール〈参加者数〉６００人　　入場者５００人／出演者８０人／スタッフ２０人〈詳細〉　　地元文化団体によるジャンルごとの発表の後・・・。　　　１　○○　　　２　○○　　　３　○○　　　４　○○ |
| 事業の特色 | 　○○周年を記念し、通例を凌ぐ最大規模の発表会とする。併せて、県外の文化団体を招へいすることで更なる文化交流を促す。 |

［様式２］

**令和２年度県民芸術祭収支予算書（応募用）**

**収入** （単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費　　目 | 予　算　額 | 説　明　及　び　積　算 |
| 県民芸術祭補助金入場料広告料寄付金団体負担金 | 　○○○○　　○○○　　○○○　　　○○　　　○○ | （公財）宮崎県芸術文化協会大人○○円、子ども○円プログラム掲載広告料当団体負担金 |
| 合　　計 | 　○○○○ | ←支出合計と一致させること |

**支　出** （単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費　　目 | 予　算　額 | 説　明　及　び　積　算 |
| 使用料及び賃借料印刷製本費報償費委託料 | 　　○○○　　　　○○○　　　　○○○　　　　　　○○○ | 会場費○○○円　（本番○○円、前日○○円）楽器レンタル○○円プログラム○○円（○○部）チラシ○○円（○○○部）県外文化団体（旅費○円、報償費○円）照明・音響管理 |
| 合　　計 | 　○○○○ | ←収入合計と一致させること |

**事業計画書・収支予算書（応募用）　作成上の注意事項**

**◎事業計画書（様式１号）**

１ 事業実施団体

 団体名、代表者氏名、担当者氏名及び郵便番号、住所、電話番号を記入してください。

２ 事業計画

（１）事業名 　　　事業の名称を記入してください。

（２）主管団体 　主管する団体の名称を記入してください。

（３）事業の目的 　可能な限り詳細に記入してください。

（４）事業の内容 　日時、会場、事業構成、あらすじ、参加予定者数など、事業の概要を記入してください。

（５）事業の特色 　事業の特色を記入してください。

（６）申請した理由　今回申請した特別な事情（コロナの影響等）があれば具体的に書いてください

**◎収支予算書（様式２号）**

１　収入

　・項目は、県民芸術祭補助金、他の団体等からの補助金・助成金、入場料、出品料、参加料、広告料・協賛金、負担金、寄付金に区分し、順次該当する項目のみを記入し、それぞれ説明及び積算を記入してください。**関係のないものは記入しないでください。**

　・県民芸術祭補助金は、事業費総額（下記支出欄に掲げる補助対象外経費を除く。）の１０分の１０以内（県民芸術祭実施要項３（１）②に掲げる事業の場合）の額を計上してください。「説明及び積算欄」に(公財）宮崎県芸術文化協会と記入してください。

　・入場料は、前売り、当日券、一般、学生等の種別を「説明及び積算欄」に記入してください。

２　支出

　・費目は,原則として別紙の「費目の例」により、順次該当する項目のみを記入してください。**関係のないものは、記入しないでください。**

　・**補助対象外経費**は次のとおりです。

 ⑴ **「創立記念式典及び表彰式」に要する経費**

 ⑵ 練習時の報償費等（遠方から招聘する特別ゲストを除く。）

 ⑶ 原則として、団体内部の人員、組織に対する賃金、報償費、委託料

　　 ⑷　その他、県芸文協会長が不適当と認める経費

 ※ 不明な点は県芸文協事務局にご確認ください。

**◎手続きの流れ**

　①事業募集　　県芸文協→文化団体　※R2年8月4日～8月20日

　②応募　　　　文化団体→県芸文協

　③審査　　　　県芸文協

　④採択決定　　県芸文協→文化団体　※令和２年9月上旬

　⑥交付申請　　文化団体→県芸文協

　⑦交付決定　　県芸文協→文化団体　※令和２年9月中旬

⑧実績報告　　文化団体→県芸文協　※事業後３０日以内

　⑨交付確定　　県芸文協→文化団体

　⑩請求　　　　文化団体→県芸文協

　⑪補助金支給　県芸文協→文化団体　※概算払い可能な場合あり

 費目の例

|  |  |
| --- | --- |
| 費　　目 | 内　　　　　　　　容 |
| 使用料及び賃借料 |  発表及び練習会場使用料、大道具・小道具（かつら・衣装・楽譜等）、賃借料、機械等リース・レンタル料、会議室使用料 等 |
| 通信運搬費 |  大道具・楽器等運搬費、事務連絡用電話代等、郵便代 等 |
| 消耗品費 |  舞台・大道具製作材料代、小道具等購入費、看板代、メイク材料代、 衣装製作代、コピー代 等 |
| ~~食糧費~~ |  ~~開催当日弁当代、会議茶菓子代~~ |
| 印刷製本費 |  ポスター・パンフレット・チケット等印刷代、台本作成代 等 |
| 旅費 |  ゲストの旅費　等 |
| 賃金 |  当日会場設営アルバイト、受付アルバイトの賃金 等 |
| 報償費 |  演出謝金、演奏謝金、指揮者謝金、振付謝金、出演料 等 |
| 委託料 |  照明管理委託、記録撮影委託、音響管理委託、振付・かつら・床山・メーキャップ・作詞・作曲・台本作成等の委託 等 |
| 手数料 |  ピアノ調律費、入場券販売手数料　振り込み手数料 等 |
| 宣伝費 |  テレビ・ラジオ・新聞広告 等 |
| 著作権料 |  著作権使用料 |